

令和5年度ホタテガイ採苗情報（第5報）

令和5年5月22日

発行：岩手県水産技術センター

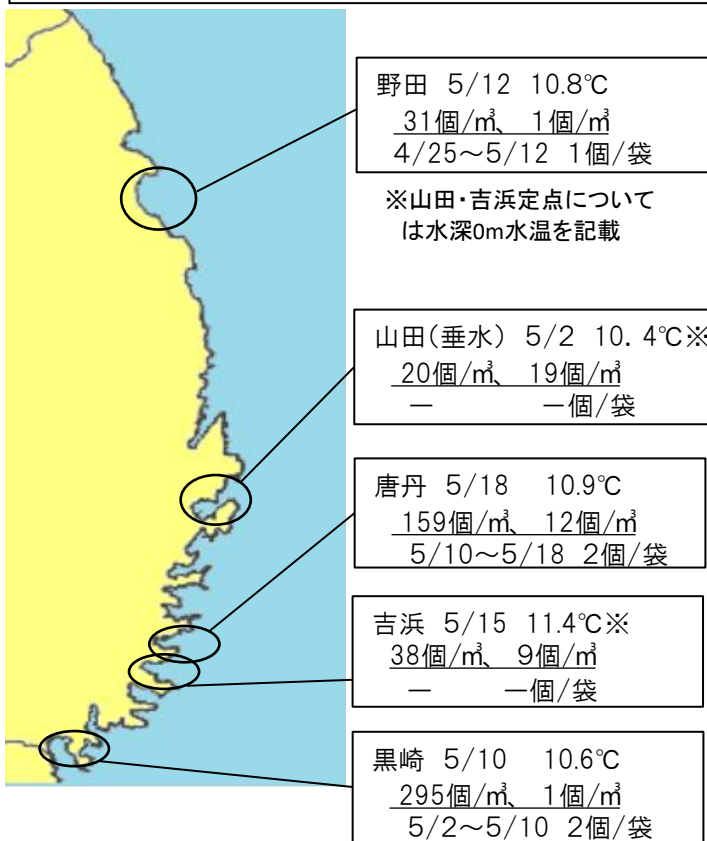
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



ホタテガイの小型のラーバが多く出現しています。
ホタテガイ稚貝の付着は少ない状態ですが、採苗器の
分散投入を継続してください。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.9℃で、透明度は10.0mでした。水温は例年より高めとなっています。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが159個/m³（昨年同時期：85個/m³）、200μm以上の大型のラーバが12個/m³（同：12個/m³）出現しました。
- ムラサキイガイ、キヌマトイガイのラーバ出現数は、昨年同時期よりも少なめとなっています。
- 唐丹湾では、ホタテガイの付着稚貝は2個/袋と少ない状態です。
- 小型のホタテガイラーバは多く出現し、大型のラーバも出現し始めているので、採苗器の分散投入を継続してください。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月25日頃に
発行する予定です。

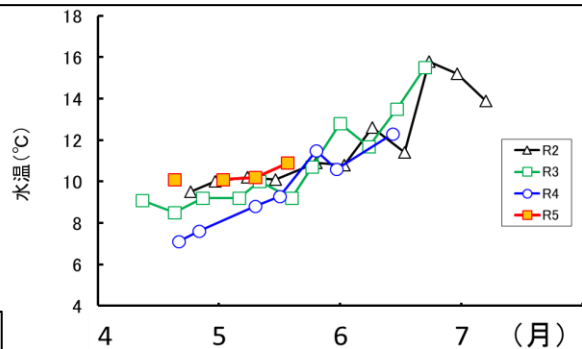


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

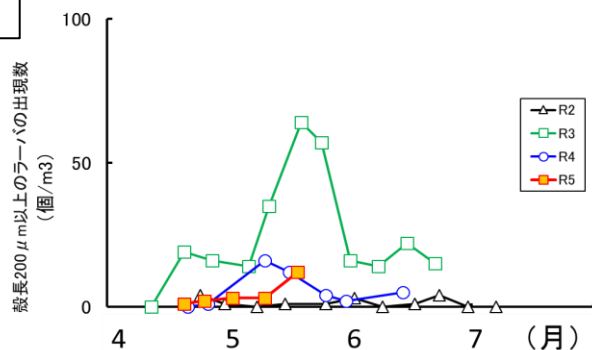


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

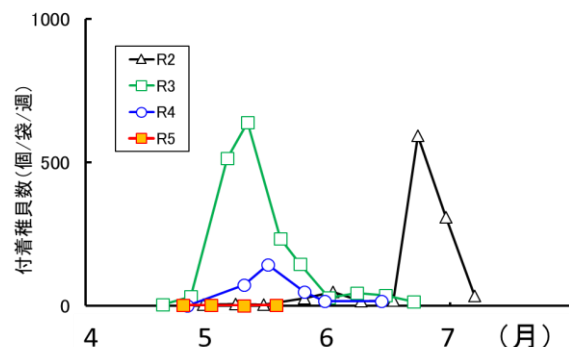


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数